

ネギ、ワケギ、アサツキ\*1 (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	ネ	ワ	ア	作用機 構分類 コード	人	使	使	使	疫	べ	苗	葉	萎	黄	黒	さ	白	灰	小	小	ポ	黒	軟
	ギ	ケ	サ		畜	用	用	用	病	病	病	病	病	病	病	病	病	病	病	菌	菌	ト	腐
	キ	ツ	キ		性	時	回	条			と	枯	凋	斑	斑	び	絹	か	核	核	チ	核	病
					毒	期	数				枯	病	病	病	病	病	病	病	敗	敗	ス	枯	病
					性	(日															症	病	病
					数)	数																	
イオウFL	☆	☆	☆	M2		*l	-									◎							
スターナ水	☆			31		7	3																◎
トップジンM水	☆			1		7	3												◎				
	☆					*a	1					◎							◎				
トップジンM粉D L	☆			1		7	3												◎				
ベンレート水	☆			1		30	1												◎				
	☆					*a	1					◎							◎				
		☆				*i	1					◎											
ハチハチ乳	☆			39	劇	7	2			◎							◎						
アフエツトFL	☆			7		*k	2											◎				◎	
						1	2					◎			◎	◎	◎		◎	◎			
カナメFL	☆			7	劇	1	4					◎			◎	◎	◎					◎	
ケンジャFL	☆			7		14	2															◎	
パレード20FL	☆			7		*h	1	苗														◎	
						1	3					◎			◎	◎	◎		◎			◎	
モンカットFL40	☆			7		*b	3											◎					
モンカット粒	☆			7		*b	3											◎					
	☆					3	4				◎		◎	◎	◎								
アミスター20FL			☆	11		7	4			◎				◎	◎	◎							
		☆				7	4			◎				◎	◎	◎							
ストロビーFL	☆			11		7	3							◎	◎	◎							
		☆				21	2											◎					
ファンタジスタ顆水	☆			11		7	3					◎			◎	◎			◎				
メジャーFL	☆			11		1	3			◎		◎			◎	◎	◎		◎			◎	
ランマンFL	☆			21		3	4			◎													
		☆				3	3			◎													
フロンスайд粉	☆			29		*c	2										◎		◎				
フルピカFL	☆			9		7	4												◎				
セイビアーFL20	☆			12		1	3										◎		◎			◎	
		☆				3	3												◎				
シミレックス水	☆			2		21	3												◎			◎	
ロブラール水	☆			2		14	3										◎		◎		◎		◎
		☆	☆														◎		◎		◎		◎

ネギ・ワケギ・アサツキ

ネギ、ワケギ、アサツキ\*1 (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	ネ	ワ	ア	作用機構分類コード	人畜毒性	使	使	使	疫	べ	苗	葉	萎	黄	黒	さ	白	灰	小	小	ホ	黒	軟				
	ギ	ケ	サ			用	用	用	病	病	病	病	病	病	病	病	病	病	病	病	菌	菌	ト	腐	腐		
	キ	ツ	キ			時	回	条		と	立	枯	凋	斑	斑	び	絹	色	核	核	腐	核	核				
						期	数			枯	枯	病	病	病	病	病	病	病	敗	敗	症	病	病				
リゾレックス水	☆			14		*e	3										◎										
リゾレックス粉	☆			14		*f	3										◎										
オンリーワンFL	☆	☆	☆	3		14	3								◎	◎											
サブロール乳	☆			3		1	5										◎										
トリフミン水	☆			3		*a	1					◎															
	☆						*n	1	苗			◎															
モンガリット粒	☆			3		*e	3										◎					◎					
						*k	3													◎							
						*e	3																		◎		
						*j	1	土																			◎
ラー水	☆	☆		3		7	3										◎										
			☆				14	3										◎									
ラー乳	☆			3		14	3										◎										
ポリオキソAL水	☆			19		14	3									◎											
フェスティバル水	☆			40		14	3			◎																	
レーバスFL	☆			40		7	2			◎																	
オリゼメート粒	☆			P2		*b	2																◎				
		☆					*g	1																◎			
			☆				*b	1																◎			
アリエッティ水	☆	☆		P7		3	3		◎	◎																	
ピシロックFL	☆			U17		1	3			◎																	
バリダシン液5	☆			U18		*j	1				®																
						1	2										◎								◎		
ヨネボン水	☆	☆	☆	M1		7	4			◎				◎	◎								◎				
ジマンダイセン水	☆			M3		14	3			◎				◎	◎												
ペンコゼブFL	☆			M3		14	3			◎				◎	◎												
ダコニール1000FL	☆			M5		14	3			◎		◎		◎	◎						◎						
		☆					2			◎		◎		◎	◎							◎					
	☆	☆					*d	1			®																
ベルコート水	☆			M7		30	3				◎			◎	◎												
ユニフォーム粒	☆			4・11		*m	1			◎						◎	◎										
リドミルゴールドMZ顆水	☆			4・M3		14	3			◎																	
フォリオゴールドFL	☆			4・M5		14	3			◎																	
		☆					14	2			◎																

ネギ・ワケギ・アサツキ

ネギ、ワケギ、アサツキ\*1 (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	ネ	ワ	ア	作用機 構分類 コード	人	使	使	使	疫	べ	苗	葉	萎	黄	黒	さ	白	灰	小	小	ポ	黒	軟	
	ギ	ケ	サ		畜	用	用	用	病	病	立	枯	凋	斑	斑	び	絹	色	菌	菌	ト	腐	腐	
	キ	キ	キ		性	時	回	条		と	枯	病	病	病	病	病	病	病	病	核	核	ス	核	病
					毒	期	数												敗	枯	葉	病	病	
カセット水	☆			31・24		14	2																◎	
ナレート水	☆			31・M1		14	3																◎	
シグナムWDG	☆			7・11		7	3			◎					◎	◎								
ベジセイバーFL	☆			7・M5		14	2			◎	◎			◎	◎	◎			◎					
アミスターオブティ FL	☆			11・M5		14	3			◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎					
ダイナモ顆水	☆			21・27		3	4			◎														
ドーシャスFL	☆			21・M5		14	3			◎				◎										
ザンプロDMFL	☆			45・40		14	3			◎														
カスミンボルドー水	☆			24・M1		14	2																◎	
テーク水	☆			3・M3		14	3			◎	◎			◎	◎									
ダイアメリットDF	☆			19・M7		30	3							◎	◎									
ポリバリン水	☆			19・M7		14	3				◎	◎	◎						◎					
ペトファイター顆水	☆			40・27		14	3			◎														
カンパネラ水	☆			40・M3		14	3			◎				◎										
ベネセット水	☆			40・M3		14	3			◎				◎										
カーニバル水	☆			40・M5		14	3			◎				◎	◎									
プロポーズ顆水	☆			40・M5		14	3			◎	◎													

\*1:ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。☆印で区別した。

- \*a:定植直前 \*b:土寄せ時(但し収穫30日前まで) \*c:土寄せ時(但し収穫21日前まで)
- \*d:出芽揃い後(出芽3日後~10日後まで) \*e:土寄せ時(但し収穫14日前まで)
- \*f:土寄せ前(但し収穫14日前まで) \*g:生育期(但し収穫35日前まで) \*h:育苗期後半~定植当日
- \*i:植付前 \*j:は種時 \*k:生育期(但し収穫14日前まで) \*l:発病前~発病初期
- \*m:土寄せ時(但し収穫45日前まで) \*n:定植前
- ◎:リゾクトニア菌による病害
- 苗:セル成型育苗トレイまたはペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。なお、この使用方は、土耕栽培による苗には使用できない。
- 土:土壌表面散布

ネギ・ワケギ・アサツキ

ネギ、ワケギ、アサツキ\*1 (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	ネギ	ワケギ	アサツキ	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日 数)	使 用 回 数	使 用 条 件	ア ブ ラ ミ ウ マ シ 類	ア ザ ミ ウ マ シ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	タ マ ネ ギ バ エ 類	シ ロ イ チ モ ジ ヨ ト ウ 類	ネ ギ コ ガ 類	ネ キ リ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類	ネ ダ ニ 類	そ の 他 害 虫			
スピノエース顆水	☆	☆	☆	5		3	3		◎				◎								
フローバックDF	☆			11A		*b	-						◎								
スラゴ	*2	*2	*2	UN		*L	-												ナ		
バイオセーフ	☆			-		*h	-												ク		
カルホス粉	☆	☆	☆	1B		*d	2								◎						
カルホス微粒F	☆			1B	劇	*f	1								◎						
	☆					*a	1									◎					
		☆	☆			*d	2										◎				
サイアノックス乳	☆			1B		21	2		◎												
ショットガン乳	☆	☆		1B	劇	21	2		ギ												
			☆			30	2		ギ												
ダイアジノン乳40	☆	☆		1B	劇	21	2		◎◎	ネ		◎		◎							
			☆			30	2		◎◎	ネ		◎		◎							
ダイアジノン粒5	☆	☆	☆	1B		*d	2												◎		
ダイアジノン粒10	☆	☆	☆	1B	劇	*f	1					◎									
ネキリエースK粒	☆			1B		30	2								◎						
マラソン乳	☆			1B		7	6		◎◎	ハ											
ラグビーMC粒	☆			1B		*s	1												◎		
アグロスリン乳	☆			3A	劇	7	5		◎◎	ネ			◎◎		◎◎						
		☆				3	2		◎◎	ネ				◎◎		◎◎					
アディオン乳	☆			3A		7	3		◎				◎◎								
テルスター水	☆			3A		7	2						◎								
トレボン乳	☆			3A		21	2						◎								
フォース粒	☆			3A	劇	*a	1								◎			◎	ク		
	☆					30	1												◎	ク	
アクタラ顆溶	☆	☆		4A		3	3		ギ	ネ											
アクタラ粒5	☆	☆	☆	4A		*a	1		ギ	ネ											
	☆					*f				ギ											
						*g			1	苗	◎	ネ									
アドマイヤーFL	☆			4A	劇	14	2		◎												
						3	2		◎												
		☆	☆						◎												
アドマイヤー1粒	☆	☆	☆	4A		*a	1		◎												
	☆	☆						3	2		◎										
	☆							*g	1	苗	◎◎◎				◎◎						
	☆							*j	1	灌	◎◎										ト
	☆					*j	1	灌	◎◎												

ネギ・ワケギ・アサツキ

ネギ、ワケギ、アサツキ\*<sup>1</sup> (野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	ネギ	ワケギ	アサツキ	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使用 回数	使用 条件	ア ブ ラ ミ シ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	タ マ ネ バ エ	タ マ ネ ギ バ エ	シ ロ イ チ モ ジ ヨ ト ウ	ネ ギ コ ガ	ネ キ リ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類 幼 虫	ネ ダ ニ 類	そ の 他 害 虫	
アルバリン粒 スタークル粒	☆			4A		*f	1		◎	◎										
	☆						*a			◎	◎									
	☆						*p	2		◎	◎									ク
		☆					*c	1		◎	◎									
ダントツ粒	☆			4A		*a	1		ギ	ネ	◎									
	☆						*f	1		ギ	ネ									
	☆	☆	☆				3	4		ギ	ネ								◎	
バストガード溶	☆			4A		1	3		ギ	ネ									ク	
バストガード粒	☆			4A		*f			ギ	ネ										
	☆						*r	1	△	ギ										
	☆						*a			ギ	ネ									ク
	☆						1	3		ギ	ネ									
		☆	☆					*a	1		ネ									
ベニカ粒	☆			4A		*a	1		ギ	ネ	◎									
	☆						*f	1		ギ	ネ									
	☆	☆	☆				3	4		ギ	ネ									
ベニカ溶	☆	☆	☆	4A		3	4		ギ	ネ										
モスピラン顆溶	☆	☆	☆	4A	劇	7	3		◎											
モスピラン粒	☆	☆	☆	4A		*f			ギ	ネ										
	☆	☆	☆				*a	1		ギ	ネ									
	☆						*m			ギ	ネ									
ディアナSC	☆			5		1	2		◎	ネ			◎	◎						
アグリメック乳	☆			6	劇	3	3		◎	ネ										
アニキ乳	☆			6		3	3		ギ	◎			◎	◎						
アフーム乳	☆			6		7	3			◎			◎							
		☆	☆											◎						
コルト顆水	☆			9B		3	3		◎	ギ	ネ									
コテツFL	☆			13	劇	7	2			ネ			◎	◎					ヒ	
パダNSG溶	☆			14	劇	1	2		◎	◎									ク	
リーフガード顆水	☆	☆	☆	14	劇	7	2		ギ	ネ				◎						
アタブロン乳	☆	☆	☆	15		21	3		ギ				◎							
カスケード乳	☆			15		14	3		ギ	ネ			◎						ク	
ノーモルト乳	☆			15		7	2						◎							
	☆						7	3		ギ				◎						
		☆					21	3						◎						
マッチ乳	☆			15		7	3		ギ				◎							
		☆					21	3						◎						

ネギ・ワケギ・アサツキ



## ネギ、ワケギ、アサツキ\*<sup>1</sup> (野菜類の登録農薬も使用できる)

- \*a:定植時
- \*b:発生初期(但し収穫前日まで)
- \*c:生育期(但し収穫21日前まで)
- \*d:播種時又は定植時
- \*e:土寄せ前(但し収穫30日前まで)
- \*f:播種時
- \*g:定植前日～定植時
- \*h:幼虫発生期
- \*j:生育期(但し収穫14日前まで)
- \*k:育苗期後半
- \*l:発生時
- \*m:定植前日～定植当日
- \*p:生育期(但し収穫3日前まで)
- \*Q:育苗期後半～定植当日
- \*r:定植当日
- \*s:定植前
- \*t:植付時

ギ:ネギアザミウマ

ク:クロバネキノコバエ類

コ:ネコブセンチュウ

ト:トビイロヒョウタンゾウムシ及びクロバネキノコバエ類

ナ:ナメクジ類及びカタツムリ類

ネ:ネギハモグリバエ

ハ:ネギハモグリバエ(但し一部の商品はハモグリバエで登録あり)

ヒ:ヒョウタンゾウムシ類

灌:生育期に株元灌注する

苗:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。なお、この使用法は土耕栽培による苗には使用できない。

△:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの上から散布する。

浸:苗浸漬

## ネギ、ワケギ、アサツキ\*1(野菜類の登録農薬も使用できる)

主要病害虫発生消長		1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
病 害	春まき	[発生期間: 1月~4月]											
	さび病	[発生期間: 3月~10月]											
	黒斑病	[発生期間: 5月~9月]											
	秋まき	[発生期間: 8月~11月]											
虫 害	アブラムシ類	[発生期間: 7月~9月]											
	ネギハモグリバエ	[発生期間: 5月~8月]											
	ネギアザミウマ	[発生期間: 6月~10月]											
		[発生期間: 8月~11月]											

作 型                   — ; 栽培期                   — ; 収穫期  
病害虫発生消長   — ; 発生期                   — ; 発生盛期

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> <li>雨よけ栽培を行う。</li> <li>発生初期から次の薬剤のいずれかを散布する。                      アミスター20フロアブル● 2000倍                      アリエッティ水和剤★ 800倍                      ジマンダイセン水和剤☆ 600倍                      ダコニール1000 (FL) ★ 1000倍                      リドミルゴールド MZ (顆水) ☆ 1000倍                 </li> <li>全身感染している株は、早期に抜きとって処分する。</li> </ol>	秋及び春の2回発生するが、特に4~5月に降雨日が多いと発生しやすい。 ネギのほかタマネギ、ワケギ、ノビルなどに発生するが、ラッキョウ、ニラ、アサツキなどにはほとんど発生しない。
	収穫後	・ 枯死葉などの伝染源を畑に残さない。	● 耐性菌を生じやすいので連用しない。
黒斑病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> <li>肥料切れすると発生しやすいので、肥培管理に注意する。</li> <li>発病を認めたら初期に次の薬剤のいずれかを散布する。                      アミスター20フロアブル 2000倍                      ストロビーフロアブル☆ 2000倍                      ダコニール1000 (FL) ★ 1000倍                      ポリオキシシンAL水和剤☆ 1000倍                      ロブラール水和剤 1000~1500倍                 </li> </ol>	5~11月かけて発生するが、特に梅雨期および秋季に高温で降雨の多い年に多発する。
	収穫後	・ 枯死葉などの伝染源を畑に残さない。	

\*1:ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。

無印:ネギ、ワケギ、アサツキいずれにも登録あり

★:ネギとワケギに登録あり

☆:ネギのみに登録あり

注意…ネギ、ワケギ、アサツキに共通して登録がある農薬でも、作物ごとに使用時期などが異なる場合があるので、各作物における使用基準をよく確認する。

ネギ・ワケギ・アサツキ



## ネギ、ワケギ、アサツキ\*1(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
さび病	定植前	1. 肥料切れをしないよう肥培管理に注意する。 2. 雨よけ栽培を行う。	ネギのほかタマネギ、ニンニク、ニラ、ラッキョウ、アサツキなどに発生する。5～6月と9～10月に降雨が多いと発生しやすい。薬剤散布の際は展着剤を加用する。 #1 Q・I 剤に深達性展着剤を使用すると薬害を生じる場合がある(展着剤の項参照)。 ● DMI 剤は耐性菌を生じる恐れがあるので連用しない。 #2 ネギとワケギ、アサツキで使用日数が異なるので注意する。
	定植後	・発生を認めたら初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル#1、#2 2000倍 ストロビーフロアブル☆#1 2000倍 テーク水和剤☆● 600倍 オンリーワンフロアブル● 1000倍 ラリー水和剤●#2 2000倍	
黒腐菌核病	播種前	・強酸性の畑は消石灰を10 a 当り120kg施用する。	ネギのほかタマネギ、ニンニク、ラッキョウ、ニラなどに発生する。11～12月および3～4月頃に発生する。
	定植時	・発病床の苗は定植しない。	
	生育期	・発病株は早期に処分する。	
小菌核腐敗病	定植時	・定植直前に次の薬剤のいずれかに30分間根部浸漬をする。 トップジンM水和剤☆#1 200倍 ベンレート水和剤☆#2 500倍	低温、多湿時に発病が助長される。 #1 チェーンポットで育苗している場合は、1冊(30×60cm、使用土壌約5ℓ)あたり250倍液を0.5～1ℓ苗床灌注する。 #2 セル成型育苗トレイ又はペーパーポットで育苗している場合は、1箱又は1冊(30×60cm、使用土壌約5ℓ)あたり500ml 灌注する。
	生育期	1. 発生を認めたら初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 フルピカフロアブル☆ 2000倍 ベンレート水和剤☆ 1000～2000倍 ポリバリン水和剤☆ 1500倍 ロブラール水和剤 1000～1500倍 2. 発病株は早期に処分する。	
ボトリチス葉枯症	生育期	・発生を認めたら次の薬剤を散布する。 ロブラール水和剤● 1000～1500倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。

\*1:ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。

無印:ネギ、ワケギ、アサツキいずれにも登録あり

★:ネギとワケギに登録あり

☆:ネギのみに登録あり

注意…ネギ、ワケギ、アサツキに共通して登録がある農薬でも、作物ごとに使用時期などが異なる場合があるので、各作物における使用基準をよく確認する。

## ネギ、ワケギ、アサツキ<sup>\*1</sup>(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
萎縮病	播種前	・ネギ畑の近くに苗床を設けない。	ネギのほかタマネギ、ニラ、ラッキョウ、スイセンなどに発生し、アブラムシ類によって媒介される。石倉ネギ、晩ネギなどは耐病性が高い。
	苗床期～生育期	1. 苗床中の被害株は見つけ次第すみやかに抜きとる。 2. 無病苗を選別し定植する。 3. アブラムシ類の項を参考に防除する。	
アブラムシ類	苗床期	1. 寒冷紗による被覆育苗を行う(春まきネギでは発芽前～6月上旬、秋まきネギでは発芽前～12月中旬)。 2. シルバーテープを設置し、アブラムシ有翅虫の飛来を防ぐ。 3. 苗床に次の薬剤のいずれかを散布する。 ダイアジノン乳剤40 1000倍 マラソン乳剤☆ 2000～3000倍	4～6月および9～11月に高温乾燥が続くとアブラムシ類が多くなり、多発する。
	生育期	1. シルバーテープを設置し、アブラムシ有翅虫の飛来を防ぐ。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロスリン乳剤★ 2000倍 ダイアジノン乳剤40 1000倍 マラソン乳剤☆ 2000～3000倍	
ネギアザミウマ	定植時	1. 施設では近紫外線除去フィルムを展張し、開口部には目合い0.6mm以下の防虫ネットを張る。 2. 次の薬剤のいずれかを植溝に施用し、土壌混和する。 ベストガード粒剤☆ 6kg/10a モスピラン粒剤 6kg/10a	夏期が高温乾燥の時に多発する。(問題になっている病害虫の生態と防除-ネギアザミウマの項参照)
	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロスリン乳剤★# 2000倍 アディオソ乳剤☆# 3000倍 アルバリン顆粒水溶剤★# 2000倍 スタークル顆粒水溶剤★# 2000倍 スピノエース顆粒水和剤# 2500～5000倍 ダイアジノン乳剤40# 700～1200倍 ダントツ水溶剤 2000～4000倍 ディアナSC☆# 2500～5000倍 モスピラン顆粒水溶剤# 2000倍	

\*1:ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。

無印:ネギ、ワケギ、アサツキいずれにも登録あり

★:ネギとワケギに登録あり

☆:ネギのみに登録あり

注意…ネギ、ワケギ、アサツキに共通して登録がある農薬でも、作物ごとに使用時期などが異なる場合があるので、各作物における使用基準をよく確認する。

## ネギ、ワケギ、アサツキ\*1(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ネギハモグリバエ	播種または定植時 生育期	<p>・次の薬剤を施用する。 モスピラン粒剤#1 6 kg/10 a</p> <p>1. 施設では近紫外線除去フィルムを展張し、開口部には目合い0.6mm以下の防虫ネットを張る。</p> <p>2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アフーム乳剤☆#2 1000倍 アルバリン粒剤☆#2 (株元散布) 6~9kg/10 a スタークル粒剤☆#2 (株元散布) 6~9kg/10 a ダイアジノン乳剤40 1000~2000倍 ダントツ水溶剤 2000~4000倍 ディアナSC☆ 2500~5000倍 プレバゾンフロアブル5☆#2 2000倍</p>	<p>#1モスピラン粒剤は、播種時は播溝、植付時には植溝に施用し土壌混和する。</p> <p>#2ハモグリバエ類での登録</p>
シロイチモジヨトウ	生育期	<p>・8月下旬頃から発生に注意し、幼虫の若齢期に次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロスリン乳剤★ 1000倍 アフーム乳剤 1000~2000倍 カスケード乳剤☆ 4000倍 トレボン乳剤☆ 1000倍 ノーモルト乳剤☆ 2000倍 フェニックス顆粒水和剤☆ 2000~4000倍 プレバゾンフロアブル5☆ 2000倍 フローバックDF☆ 1000倍</p>	
ハスモンヨトウ	成虫発生初期~発生終期	<p>・フェロディンSLを、トラップに1ha当たり2~4個取り付けて設置する。</p>	
ネギコガ	生育期	<p>・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロスリン乳剤★ 2000倍 アニキ乳剤☆ 1000~2000倍 ダイアジノン乳剤40 1000倍 プレバゾンフロアブル5☆ 2000倍</p>	
ネキリムシ類	播種または植付時	<p>・次の薬剤を土壌表面散布または土壌混和処理する。 カルホス粉剤 6 kg/10 a</p>	
その他の病害虫		白色疫病	

\*1:ネギ、ワケギ、アサツキは使用できる農薬が異なる。

無印:ネギ、ワケギ、アサツキいずれにも登録あり

★:ネギとワケギに登録あり

☆:ネギのみに登録あり

注意…ネギ、ワケギ、アサツキに共通して登録がある農薬でも、作物ごとに使用時期などが異なる場合があるので、各作物における使用基準をよく確認する。